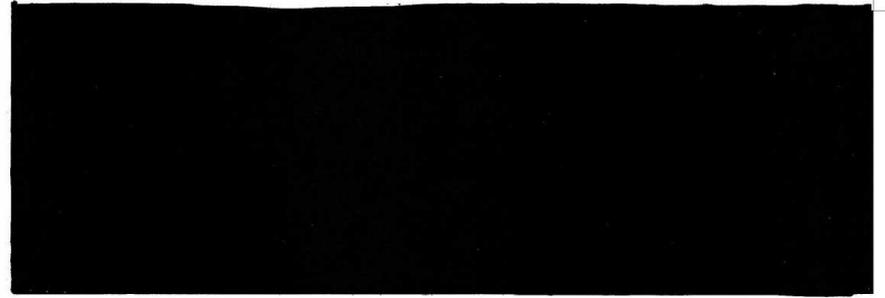


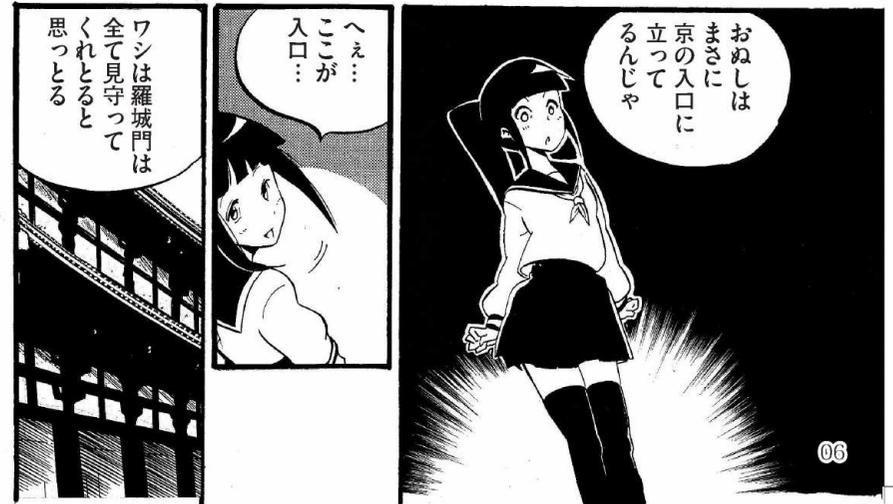
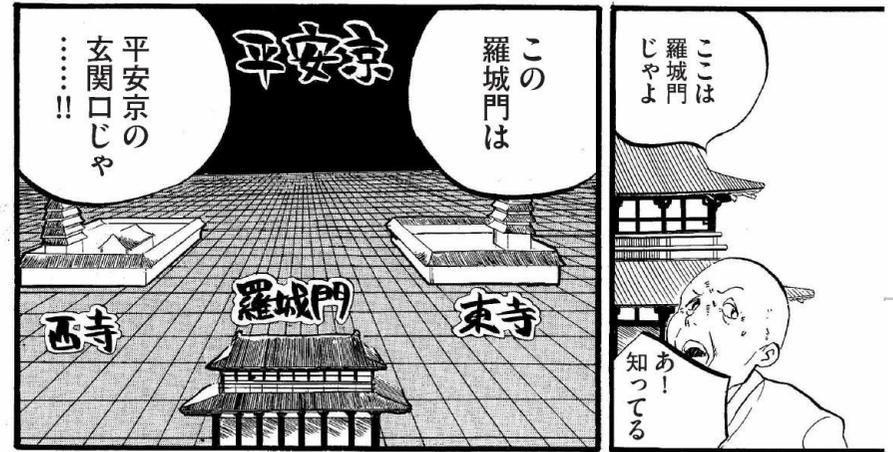
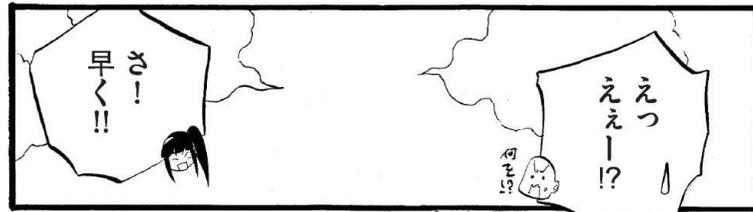
南区を巡る。

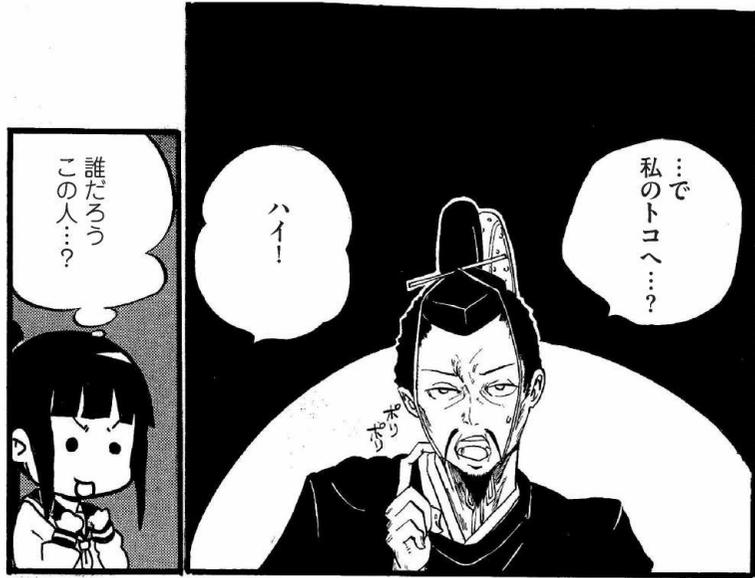
京都は観光地。
そんなことは誰もが知っていることでしょう。
歴史も深く、見所もたくさんあります。ですが、観光地を巡る時、
その場所がどういった場所であったか、どういった経緯で今があるか、
歴史的背景を知らないままにしていることが多くありませんか。
それって少しもったいない。
新しい何かを一つ知れば新しい見方が一つ増えます。

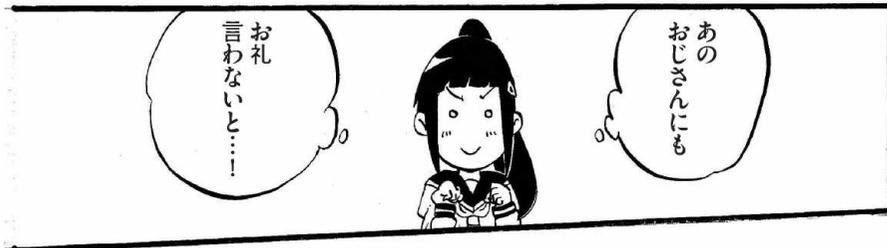
そんな瞬間を、南区から。

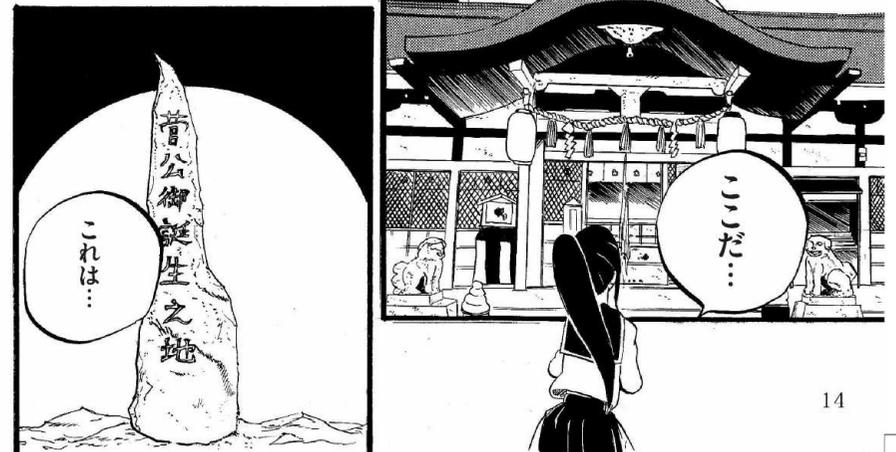
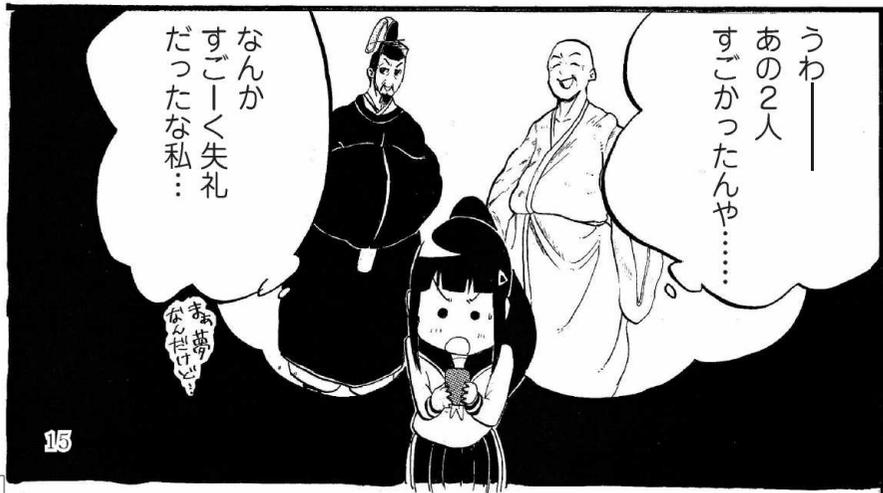
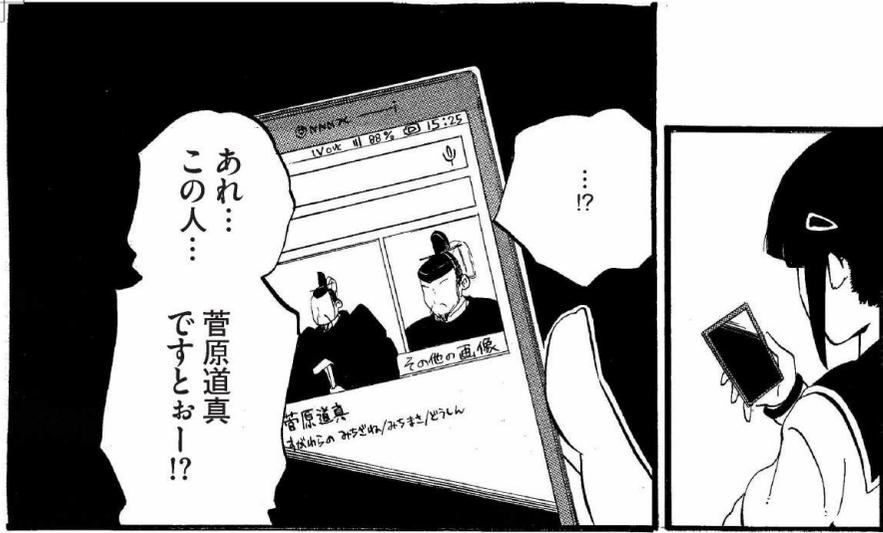


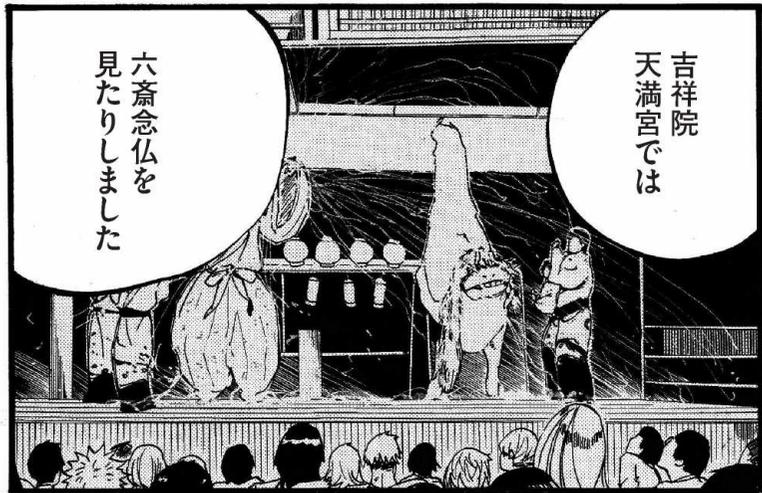












吉祥院
天満宮では

六斎念仏を
見たりしました



そうやって
見て回って
私は

改めて
思いました



今は子どもの
遊び場や
お年寄りの
散歩コース

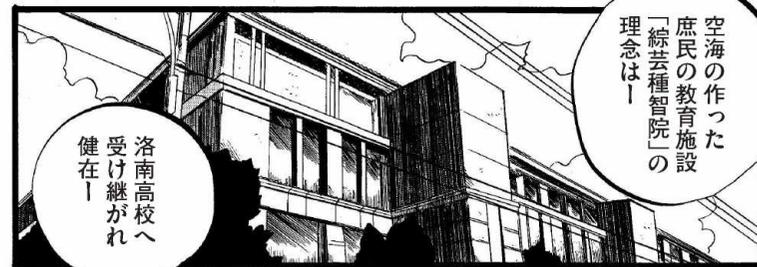
みんなの日常に
欠かせないもの
もあり

歴史を残し
伝統を
受け継いで
いたり

まさに
歴史と
暮らしが
共存していました



へー！



空海の作った
庶民の教育施設
「綜芸種智院」の
理念は！

洛南高校へ
受け継がれ
健在！



それから
色々と
調べて

西寺跡や
羅城門跡にも
行きました

築造270余年の歴史ある
建築物と身近に巡り会える喜びを

長谷川家の歴史
古い昔から、農業地帯として発展していた京都市南区の東九条。この地で室町時代から代々農業を営んできた長谷川家の農家住宅は、築造270余年の歴史ある建物で、国の登録有形文化財です。そして、現在は地域の交流の場にと、一般公開されています。
ここ長谷川家住宅では、江戸時代に発行された書籍をはじめ、絵画、手押しポンプ、時代を感じさせる家財などが展示されているほか、水彩画家としても知られる、11代当主の長谷川良雄の作品を見ることが出来ます。また、現在定期的に開催されている手織



門には看板と有形文化財であるという証が飾られている。初めて訪れる時も迷うことはないだろう。



住宅街にひっそりと溶け込んでいる長谷川家。古さと新しさが融合する京都らしい雰囲気を醸し出している。

り教室の作品展示なども行っています。
ぜひ足を運んで、過去と現在を体感してみたいかががでしようか。



城興寺

九条殿と呼ばれた藤原信長の邸宅跡
京都市南区東九条烏丸町 7-1
地下鉄烏丸線「九条駅」2番出口前
市バス「大石橋」
19・78・202・207号系統

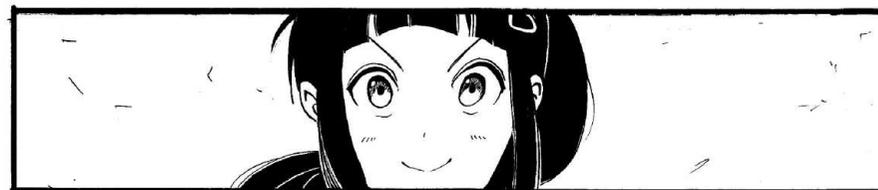
宇賀神社

藤原鎌足が宇賀塚を造ったのが由来
京都市南区東九条東札辻町 33
地下鉄烏丸線「九条駅」徒歩9分
市バス「南松ノ木町」84号系統

長谷川家

京都市南区東九条東札辻町 5
地下鉄烏丸線「九条駅」徒歩11分
市バス「札ノ辻」81号系統
大人600円 / 小学生300円

九条藤原家ゆかりの地を巡って



二 平安京ゆかりの地を巡って



東寺の歴史

東寺とは？と聞かれると、五重塔をイメージする人も多いでしょう。東寺の五重塔は、高さ約55メートル。木造の建造物の中では日本最高。この五重塔をシンボルとする東寺は創建からおよそ、1200年になります。唯一残る平安京の遺構で、1994年に世界遺産として登録されました。大変歴史深いお寺なのです。東寺の歴史を知り、東寺を訪れてみよう。歴史を知れば、五重塔の迫力もより一層増すことでしょう。

東寺は、正式には、教王護国寺といます。平安京遷都から2年後

の796年に、羅城門の東に東寺、西に西寺が建立されました。国立の寺院で、京を鎮護するために建立されたといわれています。桓武天皇の後に即位した嵯峨天皇は、唐で新しい仏教・密教を学んで帰国した弘法大師空海に東寺を託しました。823年のことです。ここに、日本で初めての密教寺院が誕生します。



見どころはそれだけではない

東寺は、国宝25件・81点、重要文化財は55件・2万3739点保有しており、これらの一部は宝物館で見ることが出来ます。宝物館では、春と秋に、高さ約6メートルもの千手観音菩薩や東寺の歴史や文化財をテーマにした特別展が行われています。見応えのある東寺1200年の寺室に出会えるチャンスです。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。開館については、東寺のホームページをご覧ください。

さらに、毎月21日に行われる弘法市も楽しみどころです。朝8時から夕方4時ごろまで行われています。古着や骨董品など出店は様々です。一点ものを見つけたら、お気に入りにも出会えるかもしれません。家族や友人、恋人とおしゃべりしながら、自分だけのとっておきを見つけて出掛けましょう。

ぜひ東寺を訪れた際には、宝物館の拝観や弘法市ものぞいてみると、より一層お楽しみいただけるのではないのでしょうか。

まだまだあります、東寺周辺

羅城門跡地



上の写真は羅城門の復元模型。そして実際に羅城門があった場所には、現在、右の写真の石碑が建てられている。

六孫王神社



平安中期に建立された神社で、清和源氏発祥の宮。清和天皇の孫・六孫王（源経基）を祭っている。



五 羅城門跡碑

平安京の正門跡
京都市南区唐橋羅城門町花園児童公園内
市バス「羅城門」
16・18・78・202・208号系統

六 西寺跡碑

公園内に西寺講堂跡が残る
京都市南区唐橋西寺町唐橋西寺公園内
市バス「九条七本松」
78・202・208号系統

一 ろくそんのうじんじや 六孫王神社

京都市南区八条町 509
市バス「六孫王神社前」16号系統

二 とうじ 東寺

京都市南区九条町 1
市バス「東寺東門前」
18・42・71・207号系統

三 だいつうじ 大通寺

源実朝の木像が安置されるお寺
京都市南区西九条比永城町 1
市バス「九条大宮」
18・78・207号系統

四 やとりじぞうじ 矢取地藏寺

空海の身代わりに矢を受けた地蔵
京都市南区唐橋羅城門町
市バス「羅城門」
16・18・78・202・208号系統

吉祥院天満宮

吉祥院天満宮は、菅原道真を祀った最初の天満宮で、朱雀天皇の勅命によって創建されました。

道真公、皆さんも存じでしょう。そう、学問の神様と呼ばれる方です。吉祥院天満宮は、菅原道真ご誕生の地として有名であり、道真のへの緒を埋めたと伝えられている「菅公胞衣塚」や少年時代の



菅原道真とゆかりのある動物である牛はやはり、吉祥院天満宮にもいた。

に道真が習字に使用したという水、また、硯の形をした碑が並びます。

吉祥院の名の由来

道真の祖父である清公が、遣唐使の命を受けて唐へ渡航中、暴風に遭遇しました。その際、吉祥天女に祈って災いを逃れたことを受け、帰国した清公は、自邸内に吉祥天女を祀りました。これがこの地名の起源となっています。



吉祥天女の尊像が祀られた社であり、天女のご利益を得られるかもしれない。

ちょっと遠くまで 倉掛神社

季節を感じながら、南区を散歩してみよう。お散歩の休憩に、倉掛神社に足を運んでみてはいかがでしょう。

ここ倉掛神社は、菅原道真が大宰府に左遷される道中で休憩されたそうです。これに関わりがあったか、倉掛神社には江戸時代の画家・土佐光起筆の掛け軸「菅公堪忍の図」が伝わっており、京都博物館に寄託されています。

現在の本殿は、1666年創建の一間社春日造、こけら葺です。建築年代や大工の氏



名も確かなこの本殿は、装飾が豊かで細部の意匠もその時代の特色をよく表しているとして、昭和60年に京都市の文化財に指定されました。大木が茂る境内も環境保全地区に指定されています。

また、ここには、福德や財宝を授ける神様・弁財天も祀られています。お年玉もすぐになくなり、散在してしまいう私にとってびったりの神社かも、と思ったりしました。



- 一 吉祥院天満宮**
京都市南区吉祥院政所町3
市バス「吉祥院天満宮前」42・43号系統
- 二 北政所御墳墓**
道真夫人が眠る墳墓
「吉祥院天満宮」参道入口すぐ
市バス「吉祥院天満宮前」42・43号系統
- 三 六田社跡碑**
道真が月夜に虫の音をきいた森跡
「吉祥院天満宮」から徒歩3分
市バス「吉祥院天満宮前」42・43号系統
- 四 菅丞相視の水碑**
道真少年の「書」上達の地
「吉祥院天満宮」から徒歩8分
市バス「吉祥院天満宮前」42・43号系統
- 五 蔵王堂光福寺**
久世六斎念仏の発祥地
京都市南区久世上久世町 826
JR 京都線「桂川駅」徒歩 10分
市バス「久世橋西詰」42・78号系統
- 六 綾戸國中神社**
祇園祭に欠かせない役割を担う神社
京都市南区久世上久世町 446
JR 京都線「桂川駅」徒歩 6分
市バス「久世橋西詰」42・78号系統
- 七 福田寺**
安産と雨乞い祈願のお寺
京都市南区久世殿城町 5
JR 京都線「向日町駅」徒歩 10分
市バス「中久世」13・42・南1号系統
- 八 倉掛神社**
京都市南区久世東土川町 30
JR 京都線「向日町駅」徒歩 18分
市バス「国道東土川」南1号系統

浄禅寺へ行く!

京の六地藏巡りのひとつにも指定されている浄禅寺。六地藏巡りとは？と疑問に思った方へ、六地藏巡りについて紹介しましょう。毎年8月22・23日の両日、大善寺、徳林庵、上善寺、浄禅寺、地藏寺、源光寺の各お寺のお地藏さんのお幡を家の入口に吊るし、一年中

浄禅寺のアクセス
京都市南区上鳥羽岩ノ本町 93
市バス「地藏前」下車すぐ
18号系統

ひ参加したいですね。

の疫病退散、家内安全、福德招来の護符とする習わしです。

3年間、これらの6つのお寺を巡拝すれば六道の苦を免れることができると言われています。

京の六地藏巡り、ぜひ参加したいですね。

京都観光テレフォンガイド

観光

京都総合観光案内所「京なび」
..... 075-343-0548
京都市観光協会 075-752-7070
京都館（東京都中央区八重洲 2-1-1「ヤンマー
東京ビル」1F）..... 03-5204-2260

鉄道

JR 西日本お客様センター（京阪神地区）
..... { 0570-00-2486
 078-382-8686
JR 東海テレフォンセンター
..... 050-3772-3910
近畿日本鉄道京都駅 075-691-2560

地下鉄・バス

バスチケットセンター・バス総合案内所
市バス地下鉄案内所 075-371-4474
京都駅バスチケットセンター
..... 075-341-0489
定期観光バス予約センター（京都駅）
..... 075-672-2100
「歩くまち・京都」公共交通センター
..... 075-343-2555

インターネット情報

京都市南区役所 <http://www.city.kyoto.lg.jp/minami>
京都市観光協会 <https://www.kyokanko.or.jp>
京都市交通局 <http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu>
歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」 <http://www.arukumachikyoto.jp>
ポケロケ（市バス接近案内システム） <http://www.city.kyoto.jp/kotsu/blssmart/pockloc>
京都観光オフィシャルサイト京都観光 Navi <http://kanko.city.kyoto.lg.jp>
京都館 <http://www.kyotokan.jp/>

だいすきっ！南区。マンガ記念誌 ～おもてなし編～

発行者 南区役所地域力推進室
マンガ作画 福成冠智（京都版トキワ荘事業）
企画・編集 (株)めい 喜多村由梨 中西勇貴（京都版トキワ荘事業）
フリーペーパー制作団体 FASTNER。（降矢佳乃子 大西裕依）
印刷物番号 京都市印刷物 第263238号
発行日 平成27年3月